

公表	事業所における自己評価総括表（児童発達支援）
----	------------------------

○事業所名	児童デイ ワンハート阿波			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 14日 ～ 2025年 12月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 14日 ～ 2025年 12月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないように工夫している。	個々の発達に応じた個別療育や、コミュニケーション能力の向上、社会性を養うことなどを目的とした集団活動など、様々なプログラムを用意し、子どもたちが達成感や満足感を得られるよう日々取り組んでいます。休業日には外出活動やおやつ作りなど楽しみながらたくさんの経験が出来るよう工夫しています。	活動を計画する上で、子どもたちのエンパワーメントを図り、やりたいこと、好きな事を活かして自分達で企画、実行する力を養っていきたいと思っています。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるよう努めている。	電話や送迎時などに日々の様子を伝えたり、子育ての悩みや困りごとなどを伺うなど、保護者様との状況の共通理解を図るとともに、コミュニケーションや信頼関係の構築を大切に考えています。	保護者様とより深く子どもたちの様子や将来を見据えた支援の計画などを話し合う為に、ご都合やご希望に合わせて面談等の機会を増やしていきたいと思っています。
3	事業所の支援に満足している。	子どもたちが安心して過ごせる居場所作りを目指しています。楽しく、自分らしくいられる環境を整え、保護者様にも安心して利用していただけるよう努めています。	友達や職員との関りやコミュニケーションを通して様々なことを感じ、学んでいけるよう支援を行います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「保育園や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の他の子どもと活動する機会」を活動として提供する機会が少ない。	訪問側の承認が得られず、交流の機会を設ける事が困難な場合があります。	地域で開催されているスポーツイベントやお祭りに参加し交流する機会もあるが、保護者様の要望等伺いながら、認定こども園登必要とされている交流の方法を検討していきます。
2	保護者やきょうだい同士の交流の場が少ない。	家族会を開催し、意見交換等行う機会を設けたり、外部交流会の案内等行っていますが、開催日の調整や周知が不十分であることが原因と考えます。	必要に応じて家族会の日程調整を行う等し、より多くの方に参加していただけるよう検討していきます。また、保護者様やきょうだいの方々にも参加していただけるイベントの企画や外部で開催される保護者交流会の情報提供等を行っていきます。
3			

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童デイ ワンハート阿波			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 14日 ～ 2025年 12月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 14日 ～ 2025年 12月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 名	(回答者数)	8 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないように工夫している。	個々の発達に応じた個別療育や、コミュニケーション能力の向上、社会性を養うことなどを目的とした集団活動など、様々なプログラムを用意し、子どもたちが達成感や満足感を得られるよう日々取り組んでいます。休業日には外出活動やおやつ作りなど楽しみながらたくさんの経験が出来るよう工夫しています。	活動を計画する上で、子どもたちのエンパワーメントを図り、やりたいこと、好きな事を活かして自分達で企画、実行する力を養っていききたいと思っています。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるよう努めている。	電話や送迎時などに日々の様子を伝えたり、子育ての悩みや困りごとなどを伺うなど、保護者様との状況の共通理解を図るとともに、コミュニケーションや信頼関係の構築を大切に考えています。	保護者様とより深く子どもたちの様子や将来を見据えた支援の計画などを話し合う為に、ご都合やご希望に合わせて面談等の機会を増やしていきたいと思っています。
3	事業所の支援に満足している。	子どもたちが安心して過ごせる居場所作りを目指しています。楽しく、自分らしくいられる環境を整え、保護者様にも安心して利用していただけるよう努めています。	友達や職員との関りやコミュニケーションを通して様々なことを感じ、学んでいけるよう支援を行います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会」を活動として提供する機会が少ない。	訪問側の承認が得られず、交流の機会を設ける事が困難な場合があります。	地域で開催されているスポーツイベントやお祭りに参加し交流する機会もあるが、保護者様の要望等伺いながら、放課後児童クラブ等登必要とされている交流の方法を検討していきます。
2	保護者やきょうだい同士の交流の場が少ない。	家族会を開催し、意見交換等行う機会を設けたり、外部交流会の案内等行っていますが、開催日の調整や周知が不十分であることが原因と考えます。	必要に応じて家族会の日程調整を行う等し、より多くの方に参加していただけるよう検討していきます。また、保護者様やきょうだいの方々にも参加していただけるイベントの企画や外部で開催される保護者交流会の情報提供等を行っていきます。
3			